

新型コロナウイルスに不安を抱える妊産婦への支援の強化について

令和2年7月31日
子供未来応援課

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の流行下において、妊産婦は、本人の感染や出産への影響、新生児の健康管理等について不安を抱えるとともに、帰省分娩や立会分娩等が制約されるなど、産前・産後に周囲のサポートが得られにくく、強い孤独や不安感を抱えやすい状況となっている。

そのため、不安を抱える妊産婦が安心して妊娠・出産・育児ができるよう、助産師によるオンライン相談体制を整備するとともに、新型コロナウイルスの感染が確認された妊産婦に対して、退院後に、助産師等が寄り添った支援を行うための支援体制を構築する。

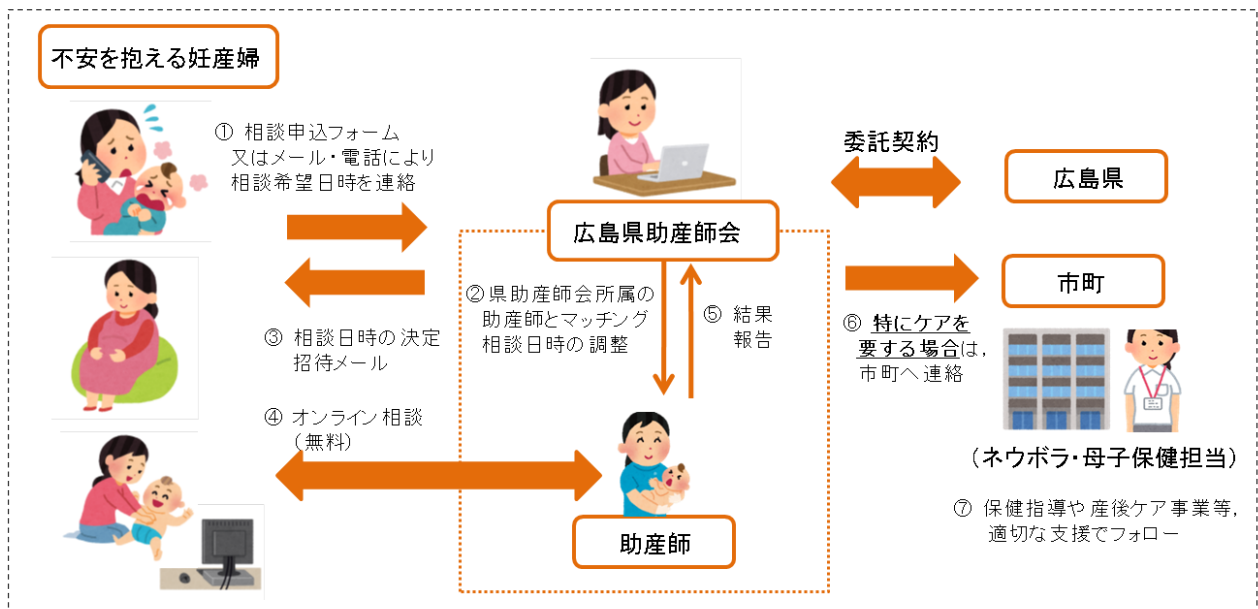
2 取組内容

(1) 助産師によるオンライン相談体制の整備（令和2年度6月補正「妊産婦総合対策事業」）

広島県助産師会所属の助産師が、妊娠中の不安や出産、産後の育児の悩み等に対して、無料オンライン相談により幅広く支援するとともに、特にケアを要する妊産婦に対しては、市町と連携して適切な支援につなげる仕組みを構築する。

名称	「ひろしま助産師 オンライン相談」
相談受付	令和2年7月17日（金）から受付開始 受付時間：月曜～金曜（平日） 9時～17時
相談日時	事前予約制 相談時間：9時～21時（土・日・祝日でも相談可能）
申込窓口	別紙リーフレットのQRコード又は専用電話（080-5611-0874） 広島県助産師会ホームページ（ https://hiroshima-josanshikai.com/ ） からも、専用申込フォームにアクセスできます。
相談内容	・妊娠中の健康管理や生活における不安 ・出産に関する不安 ・産後の母体の健康管理や授乳、育児技術に関する不安 等

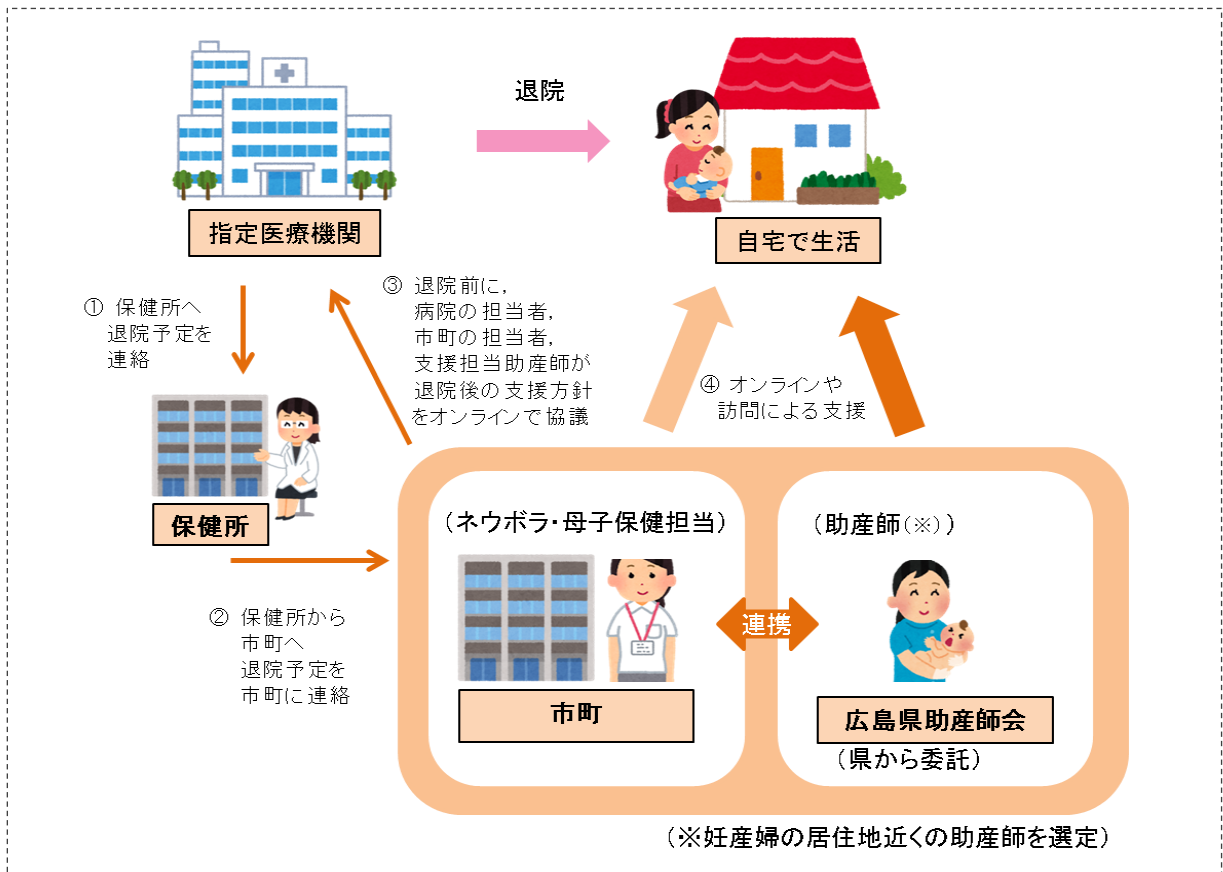
【図1：助産師によるオンライン相談支援の流れ】



(2) 感染した妊産婦に対する寄り添い型支援（令和2年度6月補正「妊産婦総合対策事業」）

新型コロナウイルスに感染していることが確認された妊産婦に対して、退院した後、助産師と市町の保健師等が連携して、オンラインや訪問等により、継続的にきめ細かな支援を実施する体制を構築する。

【図2：感染した妊産婦に対する寄り添い型支援の流れ】



3 新型コロナウイルスに対応した妊産婦等へ支援の状況

新型コロナウイルス感染症の流行に対応し、県ではこれまで次の取組を実施している。これらの取組も継続し、多角的な相談・支援体制を構築して、妊産婦や子育て家庭の孤独や不安の解消に努めるとともに、市町と連携して適切な支援につなげる。

取組名称	取組内容	実施状況等
オンラインおしゃべり広場 【令和2年4月27日開設】	・地域子育て支援拠点における親子の交流・相談や市町のノウボラ・母子保健窓口での保健指導、個別相談等をオンラインで実施	実施市町数：23市町
妊産婦向け相談窓口の設置 (女性の健康相談窓口の拡充) 【令和2年5月18日から】	・新型コロナウイルスに関する妊産婦の相談対応を追加するとともに、相談対応日を追加	電話相談件数 5月：15件、6月：23件
産後ケア事業等の利用者負担の軽減措置 【令和2年5月1日から】	・市町が実施する産後ケア、産前・産後サポート事業等の利用者負担の半額を助成	実施市町数：19市町 うち三次市、東広島市、海田町では、市町支援を追加して利用者負担を無料化

2020年7月17日(金) サービス開始!

何度でも
相談費
無料
※通信費はご負担下さい。

産前・産後の不安を解消します!
ひろしま助産師

オンライン相談

9:00~21:00 <土・日・祝日も相談OK!>

不安で
外出がへった・・・。
誰かと話したい



里帰り出産が
できない



立ちあいや
面会が無い
中での出産



私の子育て
これであってる?



妊娠や出産は、心が不安定になりやすく、誰かに頼りたいとき。
そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大により、周囲のサポートが得られにくく、
不安を感じている妊婦さんやお母さんが増えています。
広島県では、そんな方々に寄り添い、少しでも不安を解消していただくために
ビデオ会議システムを使ったオンライン相談を実施します。

ひろしま助産師 オンライン相談

オンライン相談 とは?

スマホ・タブレット・PCを使って、家にいながら都合のいい時間に相談できるサービスです。
● 事前予約制 < 予約時間の調整は平日9:00~17:00に行います >
● 相談時間 / 9:00~21:00 < 土・日・祝日も相談OK! >

オンライン相談 の流れ



◀◀◀ <https://forms.gle/i92v7TYzg3Zrzf63A>

お問い合わせ先



一般社団法人 広島県助産師会
〒731-0121 広島市安佐南区中須1丁目44-26-8
E-mail: hirosimakenMWonline@gmail.com

おはなし
080-5611-0874
【電話受付：平日9:00~17:00】



助産師としてのオモイ

妊婦健診を受けている施設や出産の時に初めて「助産師」の存在を知った方が、多いかもしれません。

実は…助産師は、妊娠や出産だけでなく、女性の健康や性と生殖(妊娠・出産)に関すること、育児や家族支援など、あらゆるライフステージの女性とそのご家族ととても関係深い仕事です。

「助産師」のことを、英語で“Midwife(ミッドワイフ)”といい、「mid」は、「with」と同じ意味、「wife」は女性をあらわしており、

“女性とともに”という意味になります。

ツライ・しんどい・わからない・困った…

そんなとき“女性とともに”ある

私たち“助産師”をご活用ください。



例えば、こんな時にご利用ください！

妊 娠

Case-1

感染のリスクを考えて、あまり外出しなくなりました。
運動不足が心配です。

Case-2

食欲がなくて困っています。
お腹の赤ちゃんにちゃんと栄養がいきとどいているのか心配です。

Case-3

院内感染が心配で、あまり病院に行く気持ちになりません。
大丈夫でしょうか…。

出 産

Case-1

里帰り出産を希望していましたが、コロナの関係で難しくなりました。
どうやってのり切ったらいいの？

Case-2

いざ陣痛がきた時に、頼れる人がいないので**パニックになりそう**で不安です。

Case-3

初めての出産なので、とにかく不安でいっぱいです。少しでも不安を解消するために**誰かと話したい**です。

子 育 て

Case-1

近くに相談できる人がいなくて、情報はネットから得ています。
本当にあっているのか助産師さんに直接聞いてみたい。

Case-2

感情の浮き沈みが激しくなり、つい物や家族にあたってしまい嫌になります。

Case-3

抱っこや授乳が難しくて…。
見てもらってアドバイスが欲しいです。



オンラインだから、
お顔や様子を見ながらお話ししたり、アドバイスや提案ができます。

この事業は広島県から委託を受けた「一般社団法人 広島県助産師会」が実施します。